

# 世田谷UDスタイル

ご自由にお持ちください!

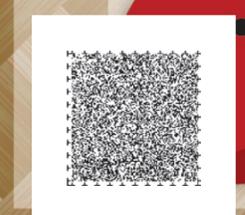


世田谷区  
ユニバーサルデザイン  
普及啓発キャラクター  
「せたっち」

第12号  
Free

聞こえない友達と  
みんなで遊ぼう!  
一緒に楽しむコミュニケーション

世田谷区から発信する  
ユニバーサルデザインのある  
暮らしのマガジン



音声コード Uni-Voice

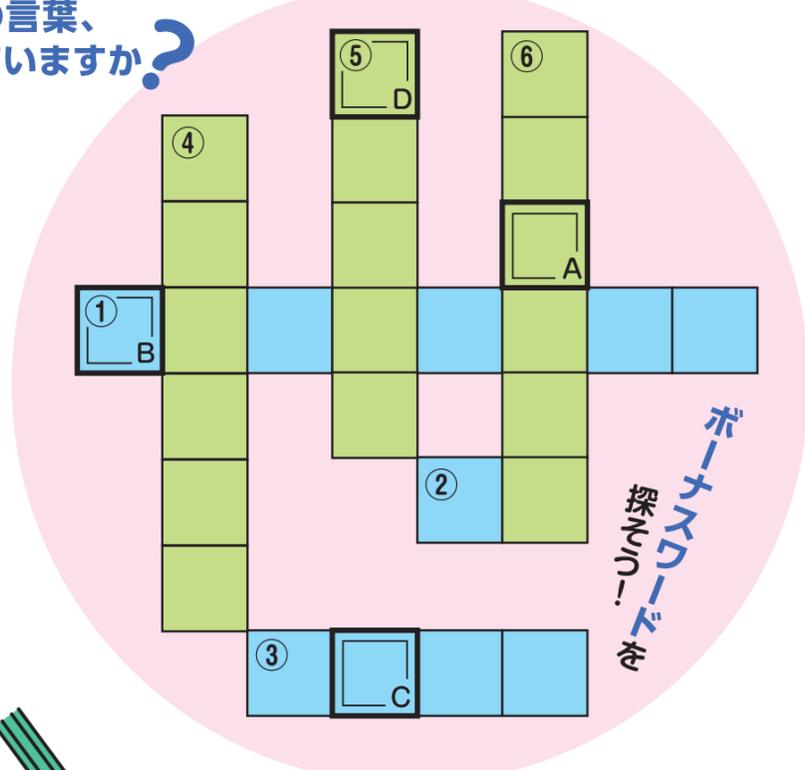
世田谷UDスタイル 第12号

## UD クロスワード

ユニバーサルデザインの言葉、  
あなたはどこまで知っていますか?

### ヨコの鍵

- ① お店の出入口の段差や階段などをスロープやエレベーターにして、車いす使用者やベビーカーなどが移動しやすくすること。
- ② トイレで立ち上がったたり座ったりするとき、体を支えるために壁側にあるのは〇〇字型の手すり。
- ③ 聞こえない人とコミュニケーションをとるときに、紙に文字を書いて伝える方法（スマートフォンに文字を入力する方法もある）。



A    B    C    D

ボーナスワードは、濁点をとった文字をいれてください。  
(が→か、だ→たなど)

### タテの鍵

- ④ よりよいまちづくりのために、区民がワークショップや施設の点検などに参加すること。
- ⑤ デフリンピックとは、4年に1度開かれる〇〇〇〇障害のある人のための国際スポーツ大会で、2025年に日本で開催された。
- ⑥ 車いす使用者が入れるお店、視覚障害者に分かりやすいウェブサイトなど、だれでも使いやすいように、工夫されていることを表す言葉。



答えは  
11ページを  
見てね

郵便はがき

1 5 8 0 0 9 4

はがき料金の  
切手を貼って  
ください

世田谷区玉川1-20-1 二子玉川分行舎  
世田谷区都市整備政策部都市デザイン課  
「世田谷UDスタイル」  
アンケート担当 行

住所 〒

※氏名(ふりがな)

年齢

10代未満

10代

20代

30代

40代

50代

60代

70代以上

※は必須です



## プレゼント

ユニバーサルデザイン普及啓発キャラクター「せたっち」のピンバッジをお送りします。  
お1人様1点限りとなります。



上の専用はがきのアンケートにお答えください。

※応募多数の場合、予告なくプレゼント内容が変更になる場合がございます。

世田谷UDスタイル 第12号 — 令和8年(2026年)3月発行  
世田谷区 都市整備政策部 都市デザイン課  
(令和8年12月まで) 連絡先 〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1 二子玉川分行舎  
電話 03-6432-7152 / FAX 03-6432-7996  
(令和9年1月から) 連絡先 〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27  
電話 03-5432-3538 / FAX 03-5432-3110

広報印刷物登録番号  
No.2415

ホームページ  
世田谷区 ユニバーサルデザイン [検索](#)  
冊子  
世田谷区 冊子・リーフレット等 [検索](#)

「世田谷UDスタイル」とは

多くの人がまちを快適に利用するための工夫や配慮を、自分自身の日常の暮らしに取り入れ実践していくことが「世田谷UDスタイル」です。様々なスタイルをこの冊子では紹介しています。

第12号の内容

- 聞こえない友達とみんなで遊ぼう — 02  
～一緒に楽しめる新ルール～
- 遊びを考えてみよう! — 03
- みんなで楽しめる新しいルールで遊ぼう! — 04～07
- 遊んでみてどうだった? 聞こえない人の声 — 06
- 松森さんのコメント — 07
- 手話ワークショップ — 08
- 聞こえない人とのコミュニケーション — 09
- 世田谷区の取組み — 10
- 「世田谷たがいがいプロジェクト」 — 11
- UDクロスワード — 裏表紙



遊びを考えてみよう!

聞こえない人の遊びは、どんな感じ?

鬼がいつ振り返るか分からないから、誰かの後ろで進むしかないよ。

だるまさんが転んだ



イス取りゲーム



みんな座り始めた! 音楽が止まったのかな?

考えた遊び方は5つです。

- あそび1 なんでもバスケット.....p4
- あそび2 イス取りゲーム.....p5
- あそび3 スイカ割り.....p6
- あそび4 花いちもんめ.....p7
- あそび5 だるまさんが転んだ.....p7

聞こえない友達と



一緒に楽しめる新ルール

みんなで遊ぼう

1回目 10/5 ワークショップ  
聞こえない友達も一緒に楽しめる遊び方を考えよう!

花いちもんめ

スイカ割り

2回目 10/25 ワークショップ  
考えた遊び方を実践! みんなに遊んでもらおう!

まちの中にはさまざまな人が暮らしています。しかし、毎日の生活の中でそれぞれの多様な状況について考えられないことがあります。

例えば、聞こえない友達と一緒に「なんでもバスケット」をする場合、どうすれば遊べるのでしょうか。お題を言う声が聞こえない人は、お題の内容もイスから動くタイミングも分かりません。

令和7年度UDスタイルワークショップでは、子どもの頃に遊んだ遊びのルールから聞こえない人が困るところを探し、その解決方法を話し合いました。出てきた意見をもとに実際に遊びながら、ルールを変えたり補ったりすることで、みんなで楽しめる「新ルール」を作りました。そのルールをいくつか紹介します。

聞こえない友達も楽しめる遊び方って、何だろう?

あそび

2

## イス取りゲーム

- 1 イスを円に並べて、鬼はまん中でしゃがむ。
- 2 みんなはイスの外をぐるぐる回る。
- 3 鬼が好きなポーズで立ち上がったら、イスにすばやく座る。
- 4 イスに座れなかった人はゲームを抜けて待つ。
- 5 イスを減らしていき、最後までイスに座れた人の勝ち。
- 6 勝った人が次のゲームの鬼になる。



好きなポーズで立ち上がる!



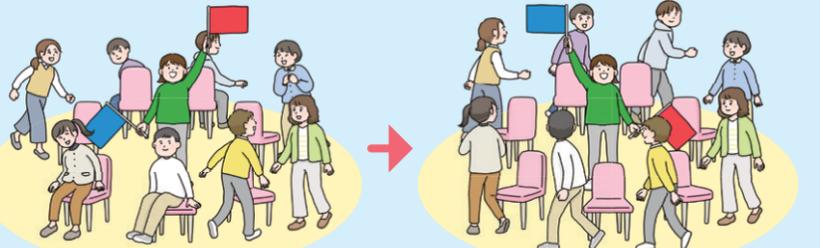
ぼくは車いすを使っているけど、どうしたら一緒に遊べるかな?



ハタ上げなら座りながら一緒に遊べるね。

いつハタを上げようかな?

レベルアップ!



「赤」のハタを上げたら、イスに座る。

「青」のハタを上げたら、座らない。間違えて座った人は抜ける。



あそび

1

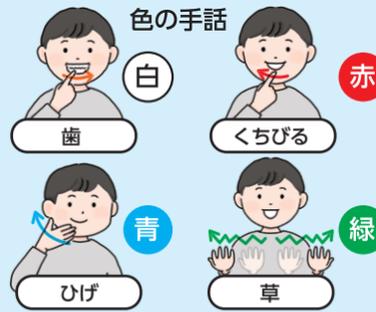
ジェスチャーでやってみよう!

## なんでもバスケット (フルーツバスケット)

- 1 鬼はホワイトボードの前に立ち、他の人はイスに座る。
- 2 鬼は声以外のやり方でお題を出す。
- 3 お題が分かったら、ジェスチャーで「分かった!」と鬼に伝える。
- 4 鬼が手をたたいたら、お題に当てはまる人と鬼は空いたイスに移動する。
- 5 座れなかった人が次の鬼になる。



使ってみよう! 身近な手話



「全部」の手話

全員移動!

文字や絵



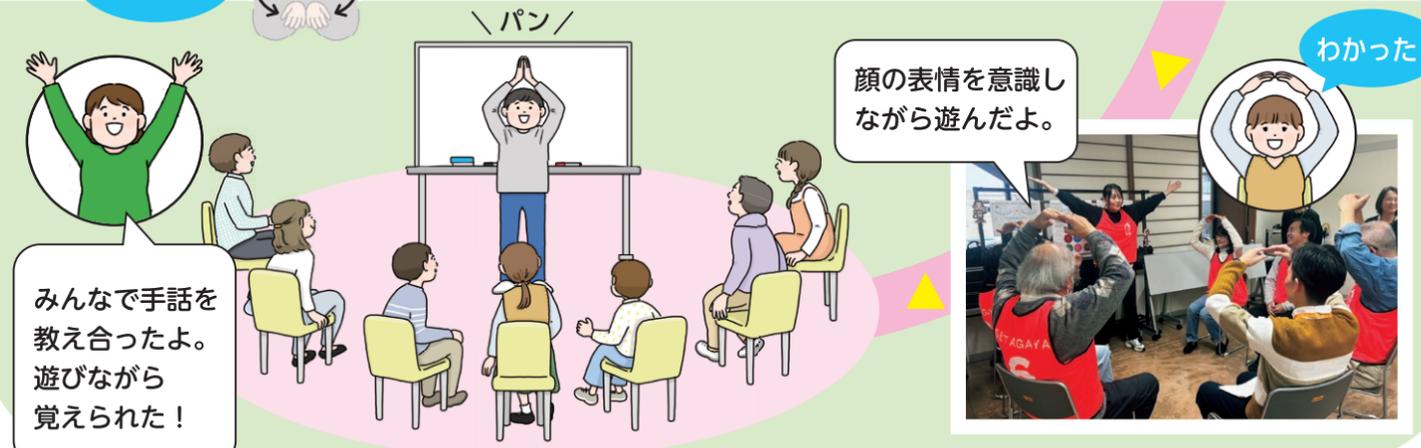
ジェスチャー

犬とハートのジェスチャー

犬が好きな人

様々なやり方でお題を出してみよう!

手話とジェスチャーを組み合わせたり、文字や絵を書いたり、お題と同じものを指さしたりして伝えてみよう!



みんなで手話を教え合ったよ。遊びながら覚えられた!

わかった!



# 聞こえない友達と遊ぶために **ここ、変えてみたらどう？**

## あそび5 “カニ”さんが歩いた (だるまさんが転んだ)

- 「だるまさんが転んだ」の声が聞こえないから、鬼がいつ振り返るか分からないね。
- 鬼が3回ジャンプしてから振り返ると、動きで分かるね。
- いつ「切った！」をしたか、分からないよ。
- 切ったをせず、鬼の肩をタッチしよう！
- 鬼の「ストップ」の声が聞こえないよ。
- 鬼が手を上げたらストップしよう。横向きなら、いつでも鬼の方を見られるね。

横向きで動いたら、みんなでカニさんになろう！



みんなカニになった！

## あそび4 花いちもんめ

- 歌が聞こえないから、スタートのタイミングや足並みがそろわないよ。
- リーダーを決めてスタートの合図をだそう！手拍子をするとうるよ。
- じゃんけんのタイミングがそろわないよ。
- 指で「3・2・1」とやってから、じゃんけんしてみよう。
- だれを選ぶか話し合えないよ。
- 指さしなら選べるね。

全員の名前が書いてあるリストを用意すると、手元で指さしできる！

誰にしよう？



### POINT

ルールを考える過程も大事だね。周りにいる人はどんな人で、一緒に何かをするにはどうしたらよいか考えてみよう！

### ◆松森さんのコメント

「手話ができないと、聞こえない人とのコミュニケーションが難しい」と思う方が多いように、聞こえない人達も「聞こえて大変」って思います。それは聞こえないからバリアがあるのではなく、コミュニケーション手段が違うからなんです。今回のワークショップでは、聞こえることが前提のルールで遊ぶときに残り残されてしまう「聞こえない人」がいることに気づき、どうしたら一緒に遊べるか聞こえない当事者と共に対話をしながら考えました。どんなことに困るのか、どうしたら解決できるのか、実際に遊びながら手話やジェスチャー、筆談など、多様なコミュニケーションを楽しみながらできたのも良かったです。

視点を変わると物事の見方が変わります。視点を増やすと世界もコミュニケーションも広がります。その気づきは、社会が変わる第一歩になります。



まつもり 松森 果林氏  
聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐUDアドバイザー

# みんなで楽しめる新しいルールで遊ぼう！

## あそび3 スイカ割り

- ### 案内する人
- 2本の指さし棒を持って、割る人の後ろに立つ。
  - 割る人をスイカに向ける。
  - 体をタッチして歩く方向を教える。
  - 割ってほしい場所になったら両肩を2回タッチ！

- ### 割る人
- アイマスクをして棒を持つ。
  - その場で3回まわる。
  - タッチされた体の位置で歩く方向を決める。
  - 両肩を2回タッチされたらスイカを割る！



## 遊んでみてどうだった？ 聞こえない人の声

初めて会った人同士なのに、困ったことをどのように解決するか対等に話し合っ、素晴らしい遊びになったと思う。世田谷区から日本中に発信して全国に広めたい遊び方だと思う。

子どもの頃「だるまさんが転んだ」をするときは、聞こえるみんなに合わせて後ろからついていながら遊んでいた。先頭に立って歩いた経験はなかった。みんなと相談し、ルールを変更して交流し、とても楽しめた。

姉妹で小さいときにたくさん遊んだが、私だけ聞こえないので、実は周りの雰囲気に合わせて遊んでいた。この遊び方は、人生でこんなに面白いことがあったかというほど楽しかった。

ルールを変えたり工夫することで遊べなかった人も遊びに参加できるという考えは、昔からみんなが持っていたと思う。従来のルールに固執する社会が人を作っていたのかもしれない。また、聞こえない人はダンス経験が少ないため、踊り方も教えてほしい。

小学生の頃は聞こえる人たちと一緒に生活していた。「花いちもんめ」や「だるまさんが転んだ」などをやったことはあるが声で遊ぶのであまり楽しめなかった。この遊び方は、子どもに戻りたいと思うほど楽しかった。

聞こえない人も楽しめる遊びが増えたことがとても嬉しい。聞こえる、聞こえない、手話ができる、できない関係なく一緒に楽しめることが非常に良かった。

UD ワンポイント知識！

# 聞こえない人とのコミュニケーション

聞こえない、聞こえにくい人のコミュニケーション方法はいろいろあります。手話だけでなく、口話や筆談、ジェスチャーなど相手が理解しやすい方法で伝えましょう。



手話

- 相手の顔を見て、口を大きく開けて話す。
- 複数人での会話では同時に話さない。
- 表情や口の形が大きなヒントになるので、マスクは外す。



指文字

- 紙、筆談ボード、スマートフォン。なんでもOK！
- 音声を文字化するスマートフォンのアプリなどを使う。
- 書くものがない時は、手のひらや空中に書く。



ジェスチャー



音声



文字

どんな方法でコミュニケーションをとりたいのか、相手に聞くことが大事だね。



**[手話を覚えてみよう！]** 簡単な手話を学び、聞こえない人と手話で話してみよう！

楽しい



拍手



ありがとう



表情で気持ちを表現することも大事だね！

手を切るようにして上にあげる



09 **9の指文字** ページ番号を指文字（指を使って五十音や数字、アルファベットなどを表現するもの）で表しています。

workshop

## スターバックス コーヒー 駒沢1丁目店 手話ワークショップ

### デフリンピック前の世田谷区内の取組み



うら き なお こ  
**浦城直子氏**  
手話ワークショップの講師  
NPO法人世田谷区聴覚障害者協会



東京2025デフリンピックの会場として使われた駒沢オリンピック公園総合運動場の近くにあるスターバックスコーヒー 駒沢1丁目店では、NPO法人世田谷区聴覚障害者協会の協力を得て、手話ワークショップを開催しました。そこで、手話ワークショップの講師、参加したパートナー※さん、一般参加者の方から声をいただきました。

Q

**手話ワークショップで最も伝えたかったことは何ですか？**

表情を大事にすることです。日本人は声で伝えることにこだわって、表情や身振りに戸惑う方が多いです。笑顔で「ダメ」だと伝えると「本当は大丈夫なのでは？」と誤解されることもあります。声以外の表現を加えると、外国人や子どもなどにも分かりやすいです。

Q

**手話ワークショップに参加されたみなさんにどのように活かしてほしいですか？**

手話ワークショップに参加して、少しでも手話が楽しいと感じていただければと思います。理想はまちの中に手話ができる方が増えることです。異なるコミュニケーション方法があることを覚えて、聞こえない世界に触れていただけると嬉しいです。



**パートナーさんからの声**

今までも、指さしや実物をお見せして対応をしましたが、もっと手話を使えたら…！ともしどかしくもありました。教えていただいた「ドリンクをお届けに行きます」などの手話を活用したいです。



**一般参加者からの声**

手話は体を使って表現するので、手話に触れていくうちにはじめは知らなかった手話でもだんだん分かるようになっていくのが面白いです。もっと学びたいと思っています。



店内のコミュニケーション（あいさつや注文など）を手話や指さし、筆談で行う「サイニングデー」が2025年11月19日に行われました。



※スターバックスでは、店舗スタッフの方を「パートナー」と呼びます。

08

Q1 おもしろかった記事はどれですか。1つ選んでください。

- 聞こえない友達とみんなで遊ぼう～一緒に楽しめる新ルール～ (P02)
- 遊びを考えてみよう！ (P03)
- みんなで楽しめる新しいルールで遊ぼう！ (P04～P07)
- 遊んでみてどうだった？聞こえない人の声 (P06)
- 松森さんのコメント (P07)  手話ワークショップ (P08)
- 聞こえない人とのコミュニケーション (P09)
- 世田谷区の取組み (P10)
- 世田谷たがいがいプロジェクト (P11)
- UDクロスワード (裏表紙)

Q2 UDを広めるためにどの施策が重要だと思いますか。(3つまで)

- UDによる区立施設の整備推進
- UDによる道路環境の整備推進
- UDによる公園緑地等の整備推進
- UDによる交通移動サービスの充実
- 民間施設へのUD整備支援
- UDによる情報の発信と取得、利用
- UD情報の蓄積・活用  UDの普及啓発
- UDの担い手づくり  UDの取組みの推進
- その他

Q3 冊子をどちらでお知りになりましたか。

Q4 UDを進めていくために必要な取組みや記事があれば教えてください。

Q5 世田谷区のUDの取組みについて、今後区民の方が参加可能なイベントや講座情報の配信をご希望の方は以下のチェック欄にチェックをお願いします。またメールアドレスを教えてください。メールもしくはお電話でお知らせします。

- 希望する  メールアドレス: \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

Q6 その他ご意見がありましたら、教えてください。

ご意見をお聞かせください。

「世田谷UDスタイル」第12号はいかがでしたか？皆様のご意見を活かして、より魅力的なユニバーサルデザインのまちづくりを進めていくため、アンケートにご協力ください。回答は上のはがきにご記入いただくか、以下の二次元コードまたはFAX、メールアドレス宛にご回答ください。

ご回答いただいた方、全員に素敵なプレゼントをお送りします。(プレゼントの内容は裏面をご覧ください)

- FAX 03-6432-7996
- メールアドレス SEK02092@km2.city.setagaya.tokyo.jp



※ご記入いただきました個人情報、プレゼントの発送や都市デザイン課からのご案内以外で使用いたしません。  
 ※アンケートはプレゼント応募締切後も受け付けています。  
 ※プレゼントの応募、二次元コードでの回答締切は **令和8年4月24日(必着)** です。



プロジェクトの活動

「人と違うこと」を差別や偏見に変えるのではなく、同じことも、違うことも、それ自体を価値あるものとしてお互いに大切にすることを、アートを軸に企画しています。

企画 1 92万通りのアートポスターが生まれる、ワークショップやイベント

障害の有無に関わらず集い、92万人の区民一人ひとりが世界にひとつのポスターを作ります。



企画 2 まち中でのアートポスター掲示、Instagramでの発信

障害のある作家のアートをあしらったポスターがまち中を彩ります。



プロジェクトに参加してくれる仲間を募集しています



- ①ポスターをお店などで掲示したい！  
プロジェクトに共感し、ポスター掲示にご協力いただけるお店・事業者は、下記申込フォームより、お申し込みください。
- ②ワークショップやイベントに参加したい！  
区ホームページまたInstagramで随時お知らせいたします。ぜひご参加ください。

[二次元コード]

区のホームページ



YouTube



Instagram



プロジェクトポスター申込フォーム



詳しくはこちら

[区のホームページ] ページID 24859

[問い合わせ先] 障害施策推進課

☎5432-2426 FAX 5432-3021

たがいがいプロジェクトとは

たがいに拍手、ちがいで握手

『世田谷たがいがいプロジェクト』

「世田谷たがいがいプロジェクト」は、「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」に基づき「地域共生社会」の実現を目指すための取り組みです。  
 合言葉は「たがいに拍手、ちがいで握手」。お互いの違いを尊重しあうことで、新しい価値が生まれていくことを楽しめる世田谷へ、という思いがこめられています。



世田谷区の取組み

UDサポーターの活動

UDサポーターのスキルアップを目的とした「ステップアップ講座」を開催し、だれもが使いやすい区立施設とするために「UD点検」を行いました。

UDのまちづくりでは、体が不自由な人や、困りごとがある人と一緒に考えることが大切です。人によって「やり方」はさまざま、その違いが「使いにくさ」や「困りごと」につながる場合があります。そこで、だれもが気持ちよく利用できる施設にするために、施設を見てまわり、「こんな工夫があったらいいね」とアイデアを出し合いました。

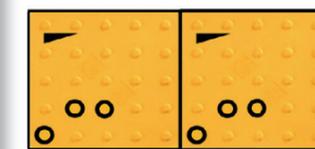


UDサポーターとは？

UDに関心があり、区のUDに関する取組みを一緒に進めてくれる仲間のことです。養成講座(全2回)を受け、名簿に登録した方がUDサポーターになります。

コード化点字ブロックの実証実験

誰もが利用しやすい区役所新庁舎とするため、視覚障害当事者の方の移動を手助けする新たな技術「コード化点字ブロック」を試験設置し、体験者から意見をもらいました。



▲コード化点字ブロックイメージ

コード化点字ブロックとは？

既存の点字ブロックに、リングや三角などの記号を貼付し、コード化したものです。利用者がスマートフォンのアプリでコード化点字ブロックを読み取ると、位置情報や周囲の情報などを音声で取得することができ、移動の手助けをします。

UD推進条例の改正

バリアフリー法及び東京都福祉のまちづくり条例の改正にあわせて、世田谷区ユニバーサルデザイン推進条例(UD推進条例)の改正を適時行い、だれもが利用しやすい施設づくりを推進しています。

主な改正内容

- ①車椅子利用者用のトイレ、駐車場、劇場の客席の設置数の強化(令和7年6月施行)
- ②トイレの設置が必要となる対象建築物等の追加(令和8年1月施行)

原則、対象建物の各階に便所を設け、そのうち1以上は車椅子使用者用トイレを設置



かるがもスペース

かるがもスペースステッカー



授乳・搾乳専用スペースや、カーテン等で仕切られたスペースがある施設のほか、臨時に授乳できる施設など(職員がご案内している施設を含む)の授乳等希望者対応施設に「かるがもスペース」のステッカーを貼付しています。